# 【利用例①:中重度認知症・高次脳機能障害ほ気 ここがポイント!!

- )認知症症状が強いが、施設入所はしたくない(自宅で生活したい)
- ●家族と同居はしているが、日中一人にするのは心配
- ●専門的なリハビリを継続したい
- ●小規模多機能を利用しなが利用できる外部サービス例
- 訪問看護 ・福祉用具レンタル ・理学療法 ・作業療法 ・言語療法
- 訪問マッサージ ほか

## 利用例

#### ムさん

<u> </u>								
性別	女性	年齢	86	要介護度	要介護4	認知度	中度	
病名	認知症、脳梗塞後遺症ほか			主な医療対応	なし			
生活環境	次女と同居			医療連携機関	近隣のクリニック			

#### 【到田梅门

<u> </u>						
	月	火	水	木	金	土
<b>訪問</b> (昼・夕)	デイサービス + 配食(タ)	デイサービス + 配食(タ)	<b>訪問</b> (屋・夕)	デイサービス + 配食(タ)	デイサービス + 配食(タ)	<b>訪問</b> (屋・夕)



- ●デイサービス:週4回 9:30~16:30
- ●訪問サービス:週2回(昼・夕)配食、安否確認、火の元確認ほか
- ●配食サービス:毎日(昼・夕飯)デイサービス利用日は、帰りの送迎時にぼやあ樹で準備した夕飯のお弁当を 持って帰宅される。自宅で過ごされる日は、昼・夕食をご自宅に届ける。

#### 【ご利用にあたって…】

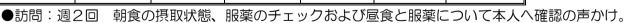
約7年前に認知症状が見られ、デイサービスを利用開始になるものの介護サービスに強い拒否あり。 介助者である次女 が介護によるうつ症状が生じたため、デイサービスと配食サービス、また家族の状態に合わせて緊急の泊まりが 可能な ことからぼやあ樹利用となる。

### Rさん

性別	男性	年齢	68	要介護度	要介護3	認知度	なし		
病名	高次脳機能障	章書 ほ	まか	主な医療対応	デイサービス利用時の服薬の見守り				
生活環境	妻と二人暮らし		医療連携機関	近隣の病院					

#### 【利用伤门

<u>רהלו כעהע ז</u>						
	月	火	水	木	金	土
<b>訪問</b> (昼)	デイサービス	自宅 (言語療法)	<b>訪問</b> (屋)	デイサービス	デイサービス	自宅 (言語療法)



●デイサービス:週3回

●言語療法のリハビリ:週2回(自宅にて)

#### 【ご利用にあたって…】

屋外で歩行中に転倒され、病院へ救急搬送となり、高次脳機能障害および廃用による筋力低下が生じる。 リハビリ目的 のため転院し、理学療法、作業療法によるリハビリ実施後、退院が可能となる。 同居の妻は就労のため、以前のような 生活が送れないではないかと不安に思い、ぼやあ樹利用となる。

